

PRESS RELEASE

2014年11月13日
株式会社AOKI
AOKIカンパニー

AOKI・信州大学・フジボウ、三者共同開発 第二弾
新登場！“綿100%”の保温肌着「超快適肌着 綿暖®」発売
～お客さまのニーズを反映し、保温率23.2%を実現した冬用肌着が誕生～

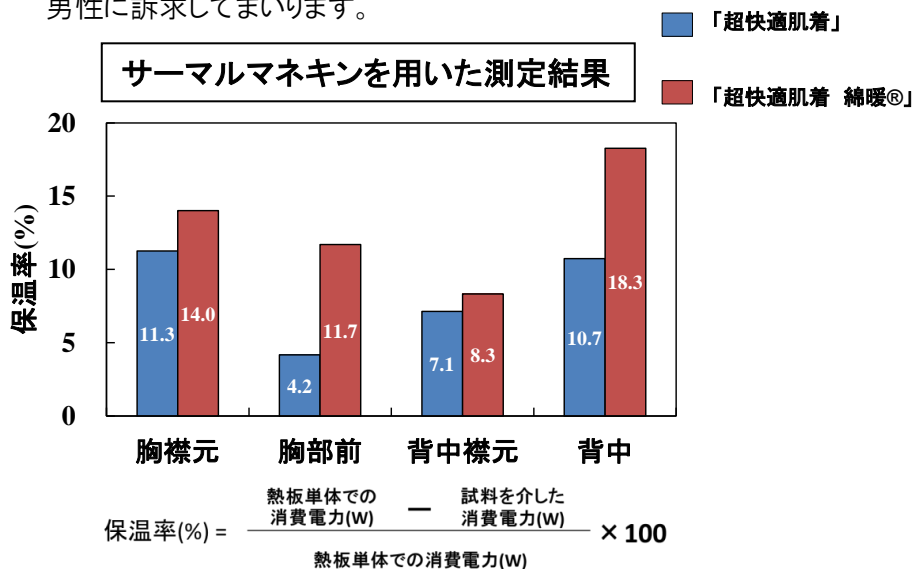
株式会社AOKI(代表取締役社長:清水彰)/AOKIカンパニーは、信州大学繊維学部・先進繊維工学課程と、繊維メーカー フジボウレーディング株式会社(代表取締役社長:小林敏彦 以下、フジボウ)の三者共同で開発した綿100%の男性向け冬用肌着「超快適肌着 綿暖®」をAOKI全店で11月15日(土)に発売します(2014年11月13日現在 AOKI店舗数546店舗)。

■信州大学繊維学部・先進繊維工学課程が実証！ 保温性をプラスした“着心地抜群・暖か肌着”

このたび発売する「超快適肌着 綿暖®」は、今年9月に発売し、30～40代のビジネスマンを中心に大好評をいただいている「超快適肌着」の第二弾商品です。「超快適肌着」は、綿100%ならではの柔らかさと肌ざわりの良さに加え、欧米人に比べ前方に肩が張り出している日本人の体形に合わせた設計(前肩設計)を採用した、肌ざわり・着心地ともに抜群の肌着です。このたび、お客さまからの「綿100%素材で、暖かい冬用肌着が欲しい」というお声を受け、新たに綿100%素材の冬用肌着を開発。素材の工夫により、生地空気層を多くすることで、オールシーズン肌着「超快適肌着」よりも保温性がアップ。信州大学繊維学部・先進繊維工学課程の保温性測定(ドライコンタクト法※)において、「超快適肌着」の保温率18.8%よりさらに、当商品は23.2%と、向上していることが実証されました。また、人体の放熱特性を模擬できる「サーマルマネキン」を用いた測定においても、胸襟元・胸部前・背中襟元・背中中の4部位で最大7.6%保温率が高いことが実証されています。

※ドライコンタクト法・・・熱板に何も置かない状態と、熱板に試料(従来の肌着と「超快適肌着 綿暖®」)を置いた状態の消費電力を比較し、その熱損失量を測定

AOKIは、この「超快適肌着 綿暖®」を、寒い冬でも動きやすく着心地抜群な暖か肌着として、30代から60代の幅広い年代の男性に訴求してまいります。



「超快適肌着 綿暖®」クルーネック

・「超快適肌着 綿暖®」の商品特長

このたび発売する「超快適肌着 綿暖®」は、“極上の着心地”を追求した「超快適肌着」の機能をベースに、新たに、冬用男性肌着として開発した商品です。

「超快適肌着」の特長

- ①人間工学に基づいた腕・肩まわりの動作がスムーズな「前肩設計」を採用。
- ②肌ざわり抜群、吸湿性にも優れた「綿100%」の天然素材を使用。
冬季の静電気による不快な“パチパチ感”も防止します。
- ③生地ของツッパリ感を軽減し、フィット感が向上した、縫い目を極限まで減らした特殊縫製。

「超快適肌着 綿暖®」は、着心地に加え、さらに“暖かさ”の機能をプラスしています。



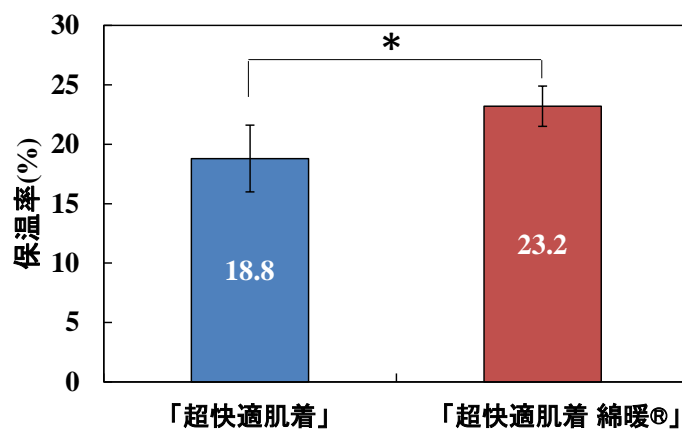
・信州大学により実証された「保温性」

当商品の保温性は、信州大学の保温性測定において、23.2%と、綿素材の肌着の保温性機能があるとされている20%を超えています。さらに、接触冷温感測定においても、熱移動量が少なく、触れたときに暖かく感じるといった結果が出ています。

通常は、生地が厚いほど熱を逃さず、保温性が高まりますが、当商品は、生地の厚さは従来品のまま、素材の工夫により、肌と肌着との間に空気層を多くつくことで保温性を向上させました。

保温性試験結果

*5%有意



■「超快適肌着 綿暖®」の商品概要

- 素材 : 綿100%
- 色柄 : 白無地
- サイズ : M、L、LL
- デザイン : Vネック半袖、クルーネック半袖
- 本体価格 : 1,250円
(税抜価格)



「超快適肌着 綿暖®」パッケージ

■報道関係からのお問い合わせ

株式会社AOKI 本社 広報担当: 小林 幸子、免田 操佳
〒224-8688 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6-56 TEL:045-942-5388/FAX:045-942-1608

■お客様(読者・視聴者)からのお問い合わせ

株式会社AOKI お客様相談室 フリーコール:0120-13-7888/HP:www.aoki-style.com
(受付時間 10:00~18:00)

■信州大学繊維学部・先進繊維工学課程との産学協同研究について

AOKIでは、2002年9月に、新商品開発を主業務とする「商品開発室」を社内に設置。これを契機に、新商品開発を強化し、積極的に推し進める狙いから、日本で唯一「繊維」に関する学部を持つ、信州大学繊維学部・先進繊維工学との産学協同研究による長期的な商品開発に着手しました。

翌2003年の秋には、産学協同研究による商品の第1弾「癒し健康スーツ」を発売。以降、研究を継続し、これまで19種の商品を開発しています。

<これまで発売した信州大学繊維学部との産学協同開発商品>

第1弾	2003年	「癒し健康スーツ」
第2弾	2004年	「癒しα波スーツ」(ラベンダーの香りがするスーツ)
第3弾	2005年3月	「癒し快適スーツ STRECH&COOL Suit」
第4弾	2005年9月	「癒し健康シャツ」(メンズカジュアルシャツ)
第5弾	2005年10月	「癒し健康シャツ」(メンズカジュアルシャツ)
第6弾	2007年5月	「快適フォーマル ストレッチ&バルキー」
第7弾		「デオドラントスーツ・ビジネスシャツ・Tシャツ(肌着)」(“着る男性化粧品衣料”)
第8弾	2007年9月	「ロイヤルコンフォートスーツ」(人間工学から誕生)
第9弾	2008年5月	「ロイヤルコンフォートクールスーツ」
第10弾	2009年10月	「プレミアムサーモスタットスーツ」
第11弾	2010年10月	「3Dスリムスーツ」
第12弾	2011年10月	「3Dスマートスーツ」
第13弾	2012年4月	「熱ブロックスーツ」
第14弾	2012年5月	「BIZ-TECHパンツ」
第15弾	2013年4月	「ドライコントロール肌着」
第16弾	2014年6月	「プレミアムクールジャケット」
第17弾	2014年9月	「超快適肌着」
第18弾	2014年10月	「ピシットふわり羽織るスーツ」
第19弾	2014年10月	「アロマ(香り)スーツ/チーフ」